



市史へんさん

第164号

平成24年11月1日

小松市史編纂事務局

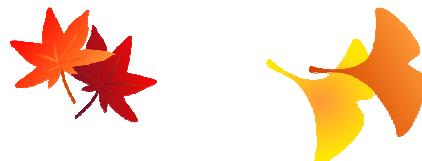
へんさんだより



すっかり秋も深まってきました。黄や赤の葉が池に落ち、空色に澄んだ水面を漂う様は加賀友禅を思わせます。季節ならではの景色に出会ったとき、四季があることに心から感謝したくなりますね。

その一方で、急に寒くなり、冬の足音さえ聞こえてきそうな今日この頃でもあります。温度変化に加え、乾燥する時期ですので、お体にはくれぐれもご注意を。元気を溜めて冬に備えましょう！

いよいよ今月開催！！



演題「小松の民俗あれこれ」

❖講師❖ 小林 忠雄 氏 （北陸大学未来創造学部教授・小松市史専門委員）

❖日時❖ 平成24年11月18日(日曜日) 13時30分～

❖場所❖ 小松市公会堂4階 大会議室

❖受講料❖ 無料（事前予約不要）



身近なしきたりの由来、皆さんはご存知ですか？

たとえば…

- ☆ お嫁さんの里帰り、「ちょうわい」とは本来どんな意味？
- ☆ 「キシウ」や「氷室」行事の由来は？
- ☆ なぜ端午の節供には菖蒲湯に入るの？



個性にあふれた小松を再発見！！

山・川・湯・平野・海、あらゆる自然に恵まれた小松の地には、鉱山・温泉・織物・九谷焼など様々な産業が誕生しました。あなたの町にはどんな自然が身近にありますか？どんな産業が栄えているでしょう？小松ならではの風土を発見しましょう！



初めて参加される方も大歓迎です！
たくさんのご参加お待ちしております！

<部会だより>

美術工芸部会(10/2・17)

26年発刊に向けて、大筋である構成と内容を決定。内容については、どのような作品を紹介するか、詳細なところまで議論した。執筆者の担当も決定し、いよいよ調査に乗り出します。

(執筆者) 北春千代・東四柳史明・木越祐馨・三浦純夫・垣内光次郎・山前圭佑・橋本正準・山崎みどり・津田隆志

<10月活動報告>

- ・ 10月 2日 美術工芸部会(3回目)
- ・ 10月 17日 美術工芸部会(4回目)

<11月の予定>

- ・ 11月 17日 近世村方部会(3回目)
- ・ 11月下旬 長吉寝獅子実演収録
- ・ 11月下旬 民俗調査



獅子舞は奥が深い！～額見町氣多御子神社の獅子舞編～

額見町の獅子舞は小棒振り(コンコラコン)、棒廻し(チーチーラカラカ)、寝獅子の3種目です。

1つ目、小棒振りは大獅子と雞が対峙します。獅子は「おのれ！一呑みにしてくれん！」と雞を追いかけますが、ひらりとかわされます。怒り心頭、必死に食らいつく獅子と、嘲るように翻弄する雞。軽やかな動きが、とても印象的です。2つ目、棒廻しは青年と大獅子の対決です。凛々しく獅子に対峙する青年。格闘の末、獅子を谷底に落とします。3つ目、寝獅子は眠っている獅子とほろ酔い気分の農夫の対面シーンで、足元がふらつく農夫が獅子を仕留めにかかる様は滑稽でありながらハラハラドキドキする場面も。3つの演目それぞれに個性があり、見どころ満載。棒振りの鮮やかで独創的な衣装も魅力の一つです。これまでに、競技会では優勝も収めています。

この寝獅子という演目は、最近若手が減ってきたことから演舞が簡略化し、各町で本来の姿が消えつつある状態です。この度の民俗調査がきっかけで、串町では保存会が、従来の寝獅子復活に向けて動き出しました。どうか若い世代に、かつての姿が受け継がれることを願ってやみません。

<11月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

は小松市史編纂事務局(図書館2階)は閉室しています。

市史編纂担当(小松市教育委員会教育庶務課)

・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91番地
・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>